

新日軽カーポート

マニュアル番号 ME-1294

改-3

“アルティナ”組立施工マニュアル

- 新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- 正しい施工をしていただくため当マニュアルをお読みください。
- 積雪地方でのご使用は避けてください。
- 強風時には補助柱をご使用ください。
- 埋設物（ガス管・水道管）の有無を確認の上、柱位置を設定してください。
- サイドパネルをお取り付けいただく場合は、サイドパネル用柱の梱包内組立施工マニュアルを先にご覧ください。

■ 工事店様へのお願い

新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を、十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。

- (1) モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- (2) モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。
抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- (3) モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、

塩化カルシウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。

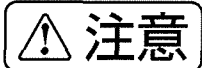
- (4) 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
 - (5) アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
 - (6) 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- みだりに改造等の仕様変更は避けてください。
 - 施工終了後、マニュアルは施主様へお渡しください。

■ 施工上の注意

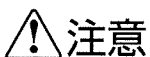
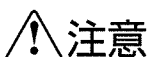
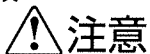
- 商品の施工については必ず組立施工マニュアルに従ってください。
また、施工完了後にマニュアルを施主様にお渡しください。
- カーポートには一般地域用や積雪地用などがあります。設置する地域の気象条件に合わせて、適応したものをご使用ください。
- 屋根の雪などが落下の恐れのある場所、または強風が屋根を吹き上げる恐れのある場所への設置はしないでください。
- カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。

■ 安全にお使いいただくために必ずお守りください。

お願いしたいこと・・・この取扱いマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

| 絵表示 | 意味 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
|  | この絵表示を無視して、取扱いを誤ると使用者が損害を負う危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。 |

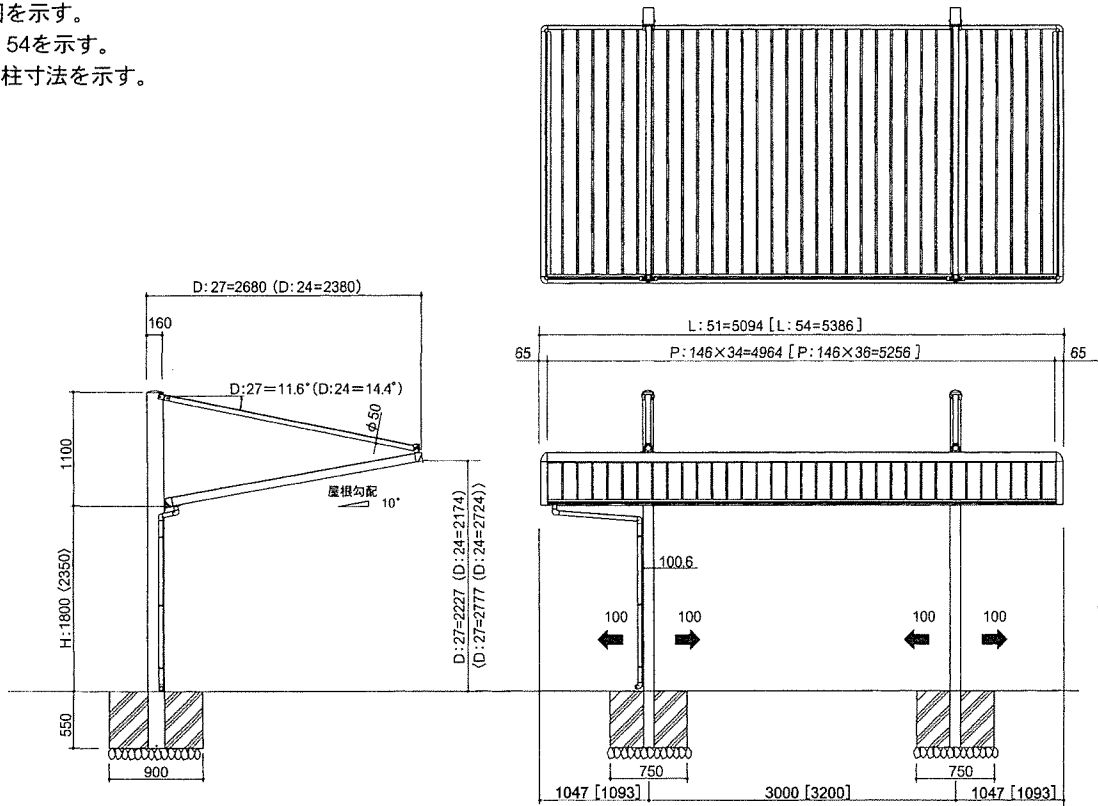
注意事項・・・・・・・・



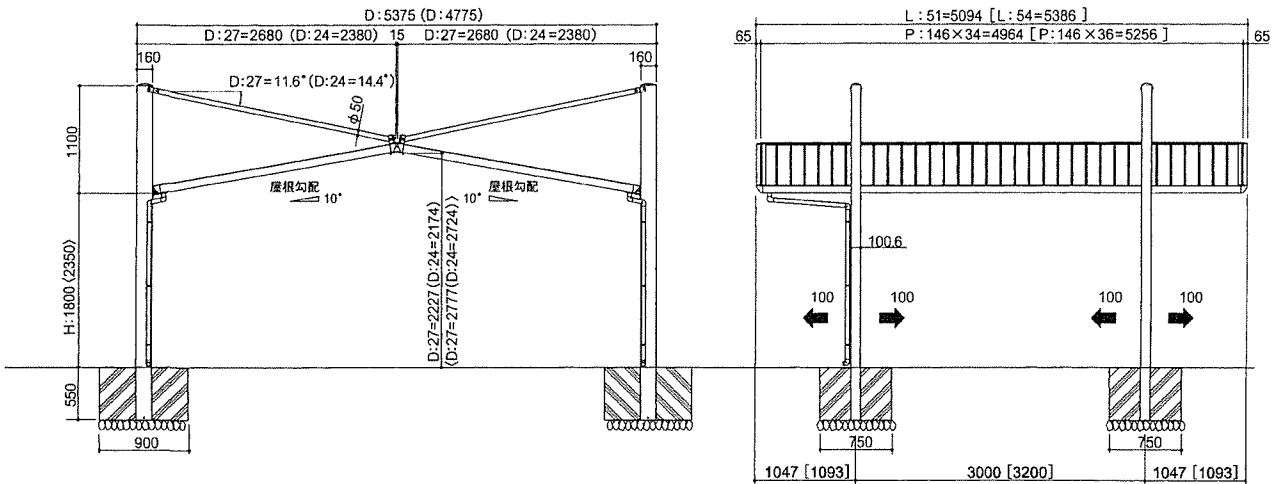
- 積雪が20cmを越える前に雪降ろしをしてください。
屋根が雪の重さでつぶれ落ちる危険があります。
- 強風時、片側支持式カーポート、自転車置場をご使用されている場合は、補助柱(別売)を付けてください。
- 当製品は地上設置高さ5m以下（1階設置）、風速30m/秒に耐える仕様となっています。
常時風当たりの非常に強い場所（岸縁等）、又は軟弱地盤での設置は避けてください。
- 当製品は簡易型車庫、自転車置場、です。物置き、遊び場、或いは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造、変更しないでください。

- 本図はD:27タイプを示す。
- ()内寸法はD:24を示す。
- ⇔印は移動範囲を示す。
- []内寸法はL:54を示す。
- 〈 〉内寸法は長柱寸法を示す。

■ 単体姿図

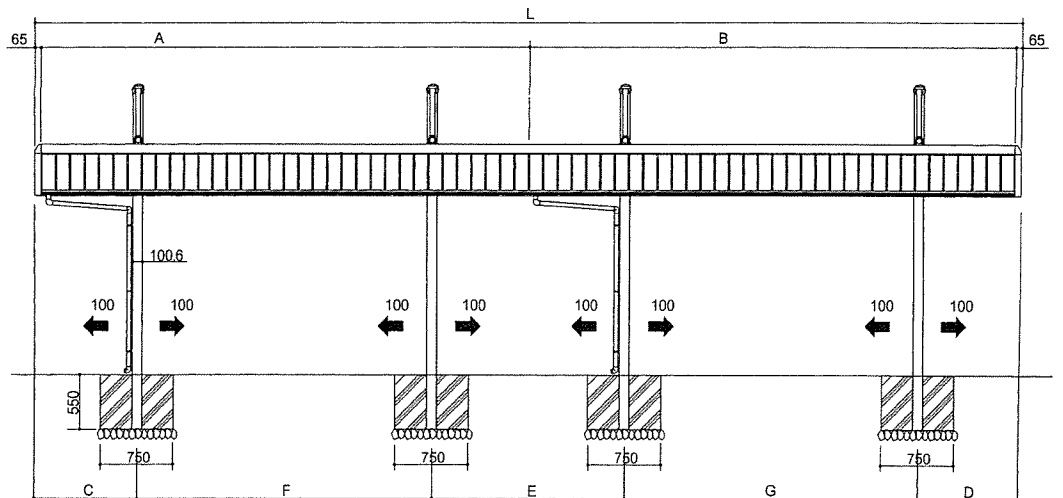


■ 合掌タイプ姿図



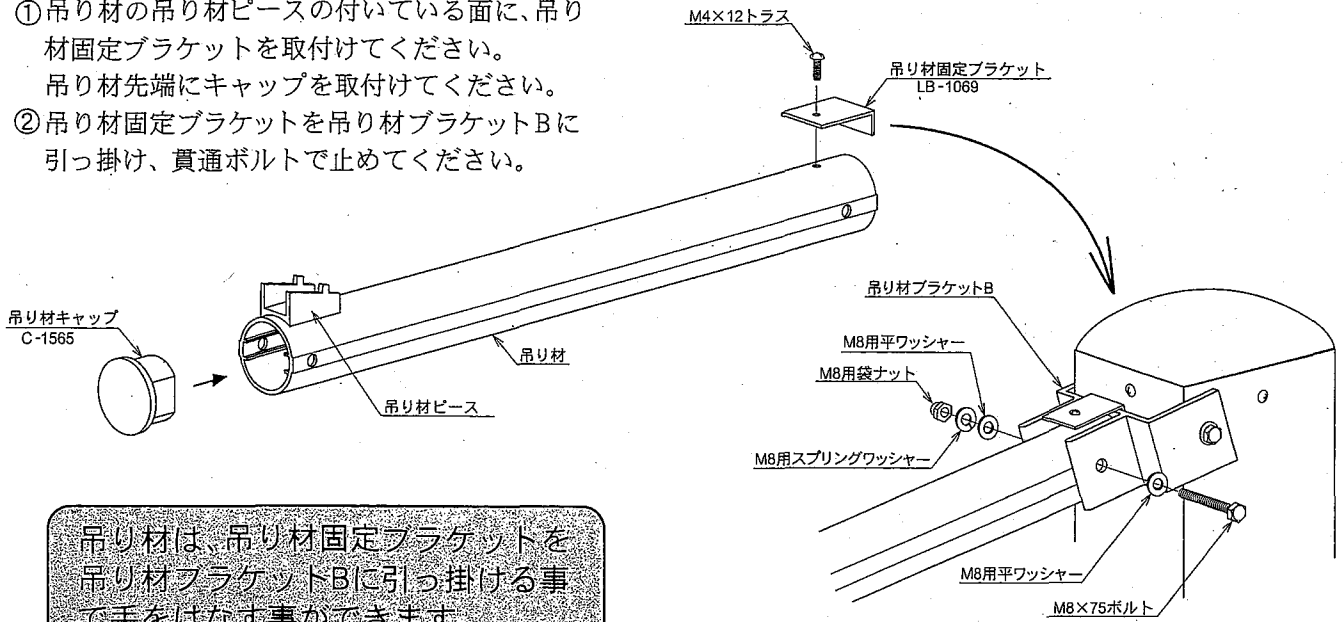
■ 連棟タイプ姿図

| タイプ | L:51+51 | L:54+54 |
|-----|---------|---------|
| 寸法 | | |
| A | 5029 | 5321 |
| B | 5029 | 5321 |
| C | 1047 | 1093 |
| D | 1047 | 1093 |
| E | 1964 | 2056 |
| F | 3000 | 3200 |
| G | 3000 | 3200 |
| L | 10058 | 10642 |



③ 吊り材の取付け

- ① 吊り材の吊り材ピースの付いている面に、吊り材固定ブラケットを取付けてください。
吊り材先端にキャップを取付けてください。
- ② 吊り材固定ブラケットを吊り材ブラケットBに引っ掛け、貫通ボルトで止めてください。



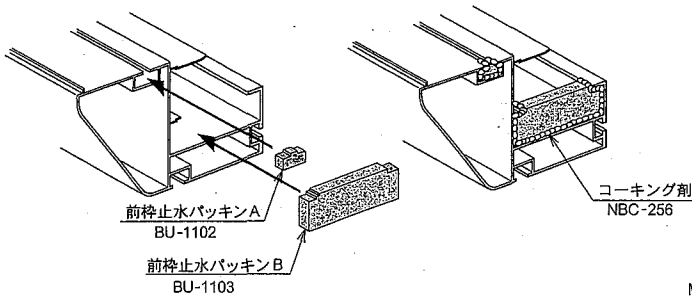
吊り材は、吊り材固定ブラケットを吊り材ブラケットBに引っ掛ける事で手をはなす事ができます。

④ 前枠の取付け

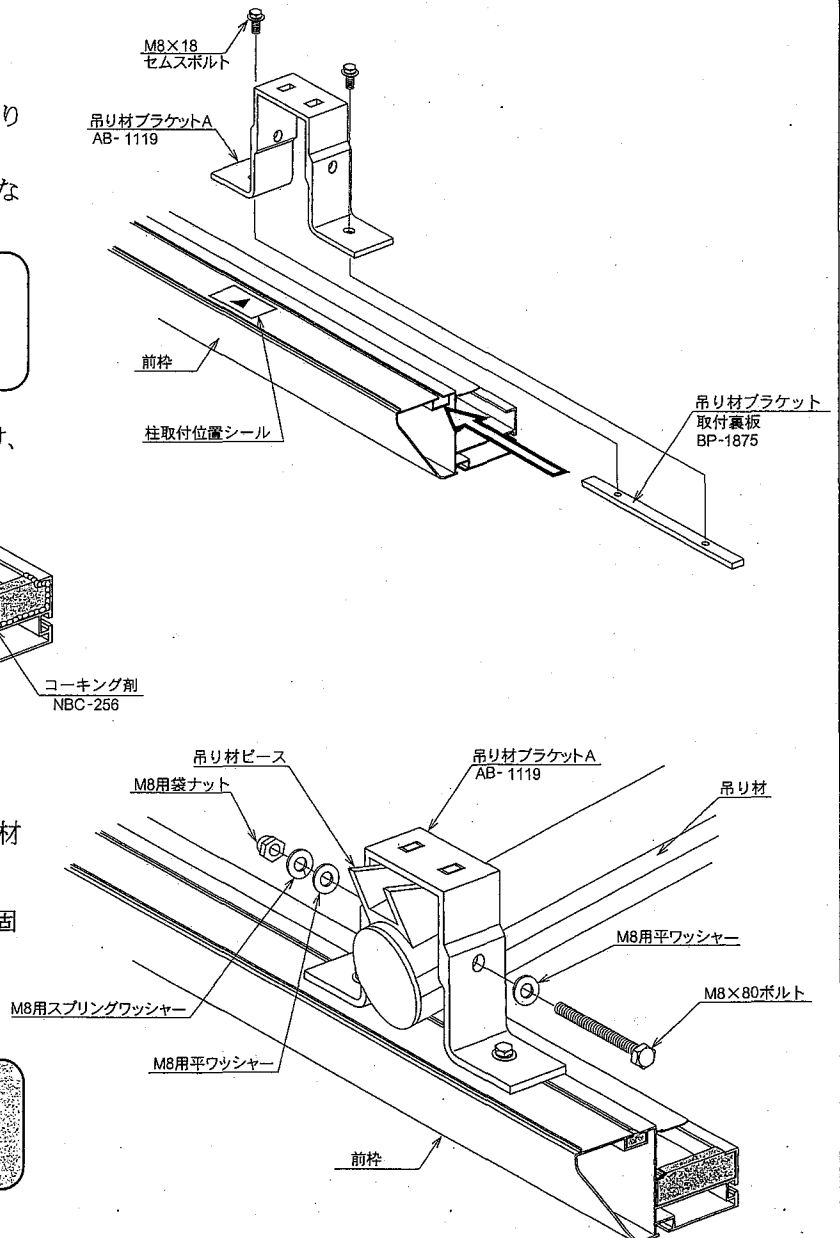
- ① 前枠に吊り材ブラケット取付裏板を通し、吊り材ブラケットAを取付けます。
この時、吊り材ブラケットAは、スライド可能な状態で仮止めとしてください。

端部から吊り材ブラケットの芯まで
L:51=982mm L:54=2682mmです。
背面合掌の時前枠の中心は端部より
L:51=2482mm L:54=2682mmです。

- ② 前枠の両端部に前枠パッキンA, Bを取付け、コーキング剤を十分に施してください。



- ③ 吊り材ブラケットAの穴に吊り材先端の吊り材ピースの突起を引っ掛けます。
- ④ 吊り材ブラケットAと吊り材を貫通ボルトで固定してください。

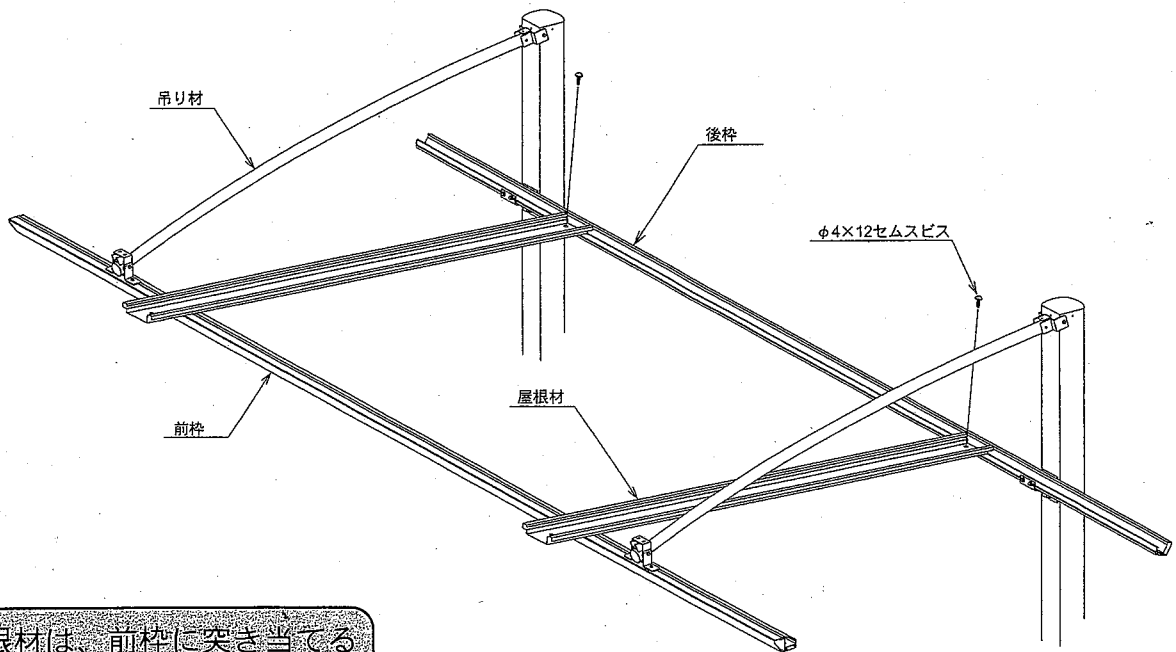


前枠は吊り材ピースの突起に引っ掛ける事で手をはなす事ができます。

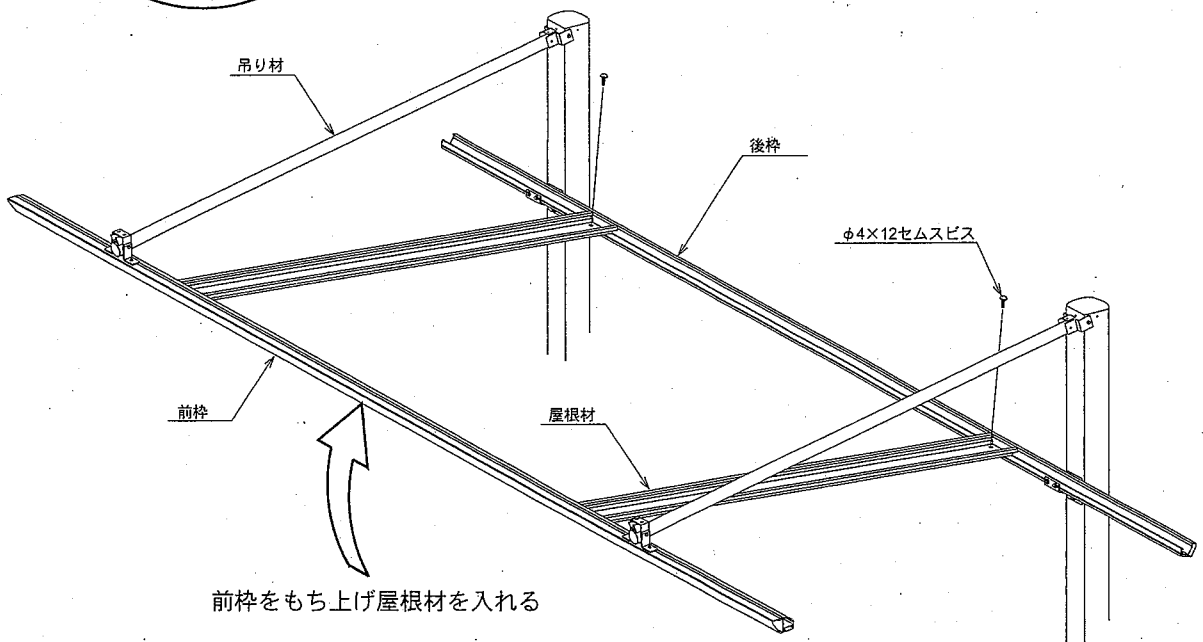
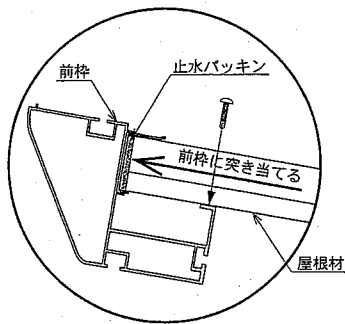
5 側枠の取付け

※側枠にはR・Lはありません。

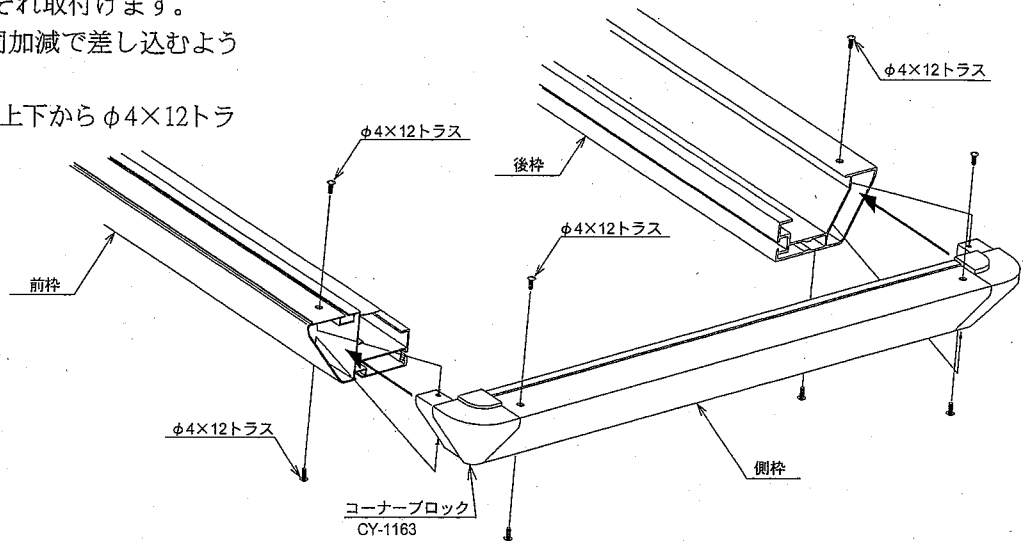
- ①前後枠に屋根材を2枚図のようにそれぞれ柱より中央より(約200mm)位置に取付けてください。
屋根材は後枠を先にビス止めし、つぎに前枠をもち上げ前枠の止水パッキンのはってある溝に屋根材を突き当てる様に入れてビス止めしてください。



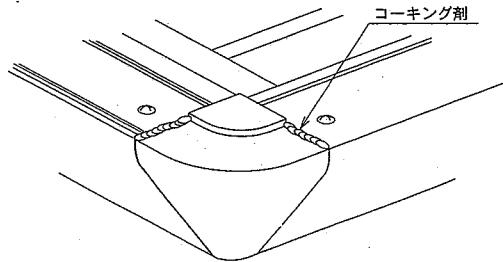
屋根材は、前枠に突き当てる様に取り付けてください。



- ② 前後枠に側枠を左右それぞれ取付けます。
取付けは前後枠に対して同加減で差し込むようにしてください。
- ③ 側枠取付後、前枠と後枠の上下からφ4×12トラスビスにて固定します。

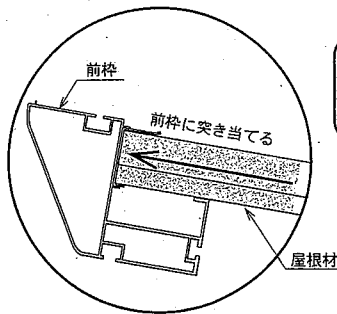
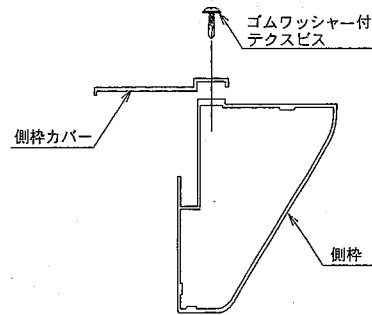


- ④ 前後枠とコーナーブロックとの嵌合部にはコーキング材を充分に施してください。

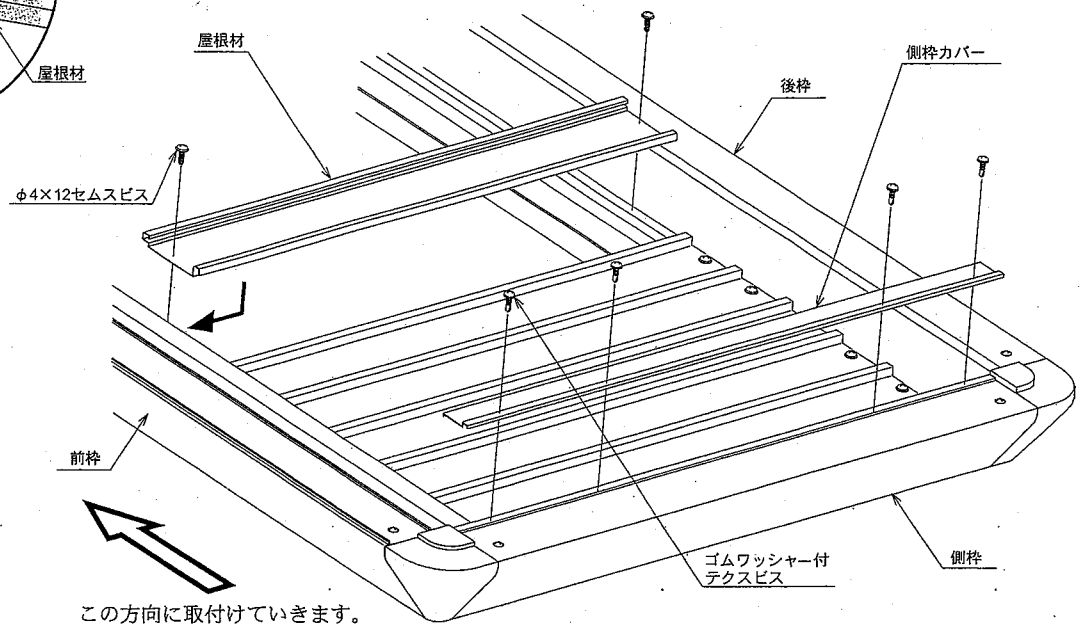


6 屋根材の取付け

- ① 屋根材を取付ける前に、屋根材を取付け始める側の側枠カバーを最初に取り付けてください。
- ② 屋根材は前枠に突き当たるまで差し込んでから、前枠・後枠の順にそれぞれφ4×12セムスビスで固定してください。

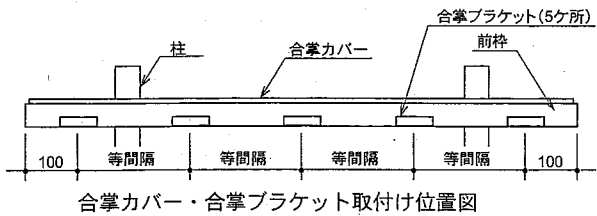


屋根材は、前枠に突き当たる様に取付けてください。

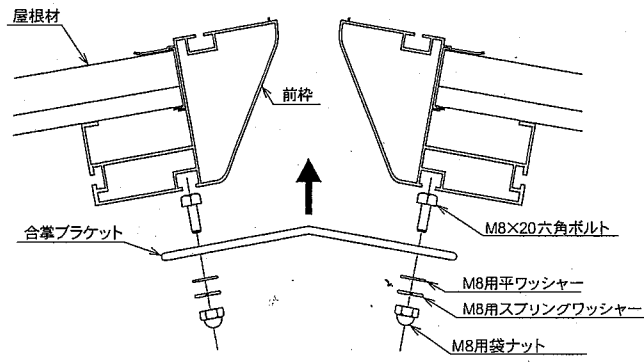


■ 合掌部の組立て

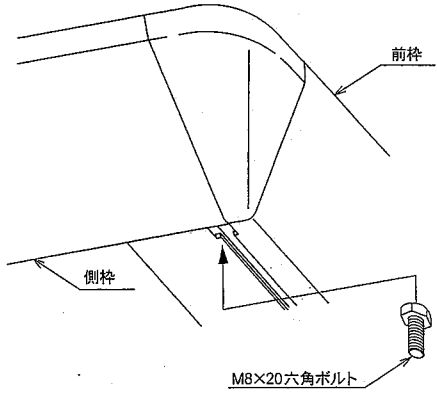
- ① 本体組立の **1** ~ **5** まで施工してください。
- ② 合掌 Bracket 及び合掌カバーの取付け位置は、下図を参照してください。



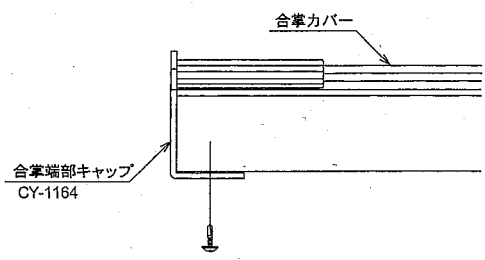
- ③ 前枿に M8×20 六角ボルトを入れ、合掌 Bracket を取付けてください。



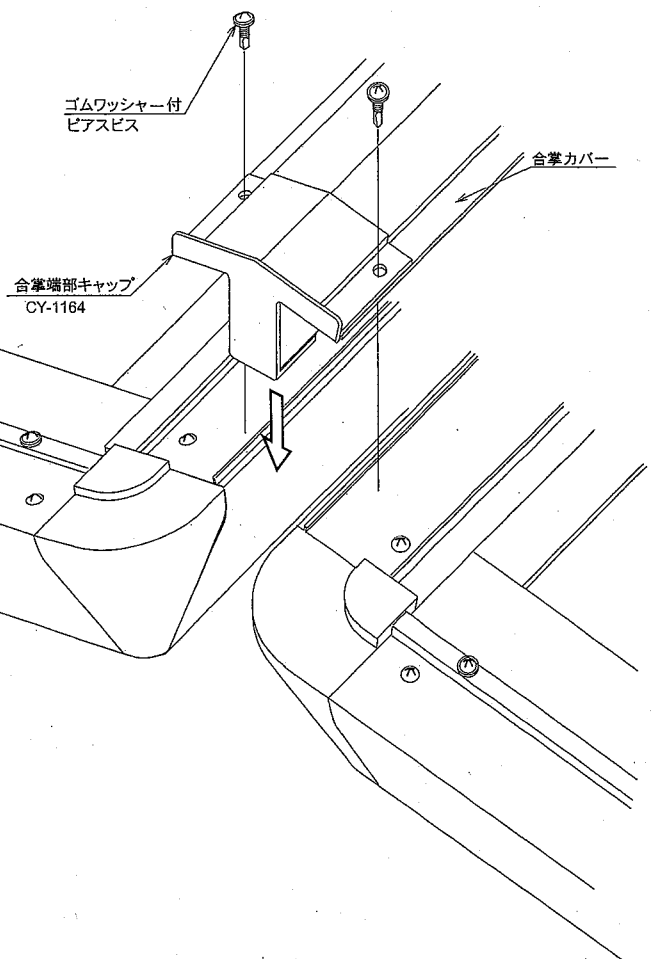
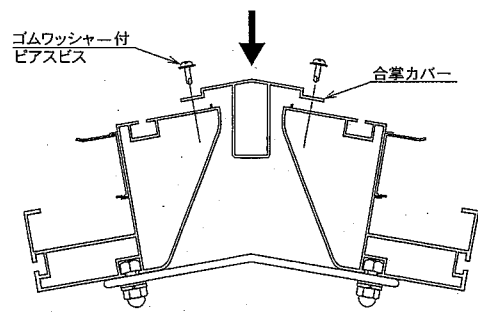
ボルトは下図のように前枿切り欠き部より挿入してください。



- ④ 合掌端部キャップを合掌カバーに下側からゴムワッシャー付きピアスビスで取付けてください。



- ⑤ 前枿と前枿の間に合掌カバーをのせゴムワッシャー付きピアスビスで前枿に止めてください。



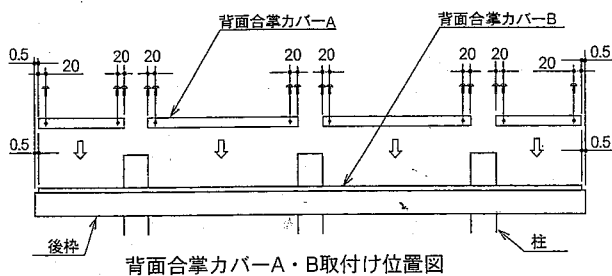
- ⑥ **6** より続けて施工してください。

■ 背面合掌の組立て

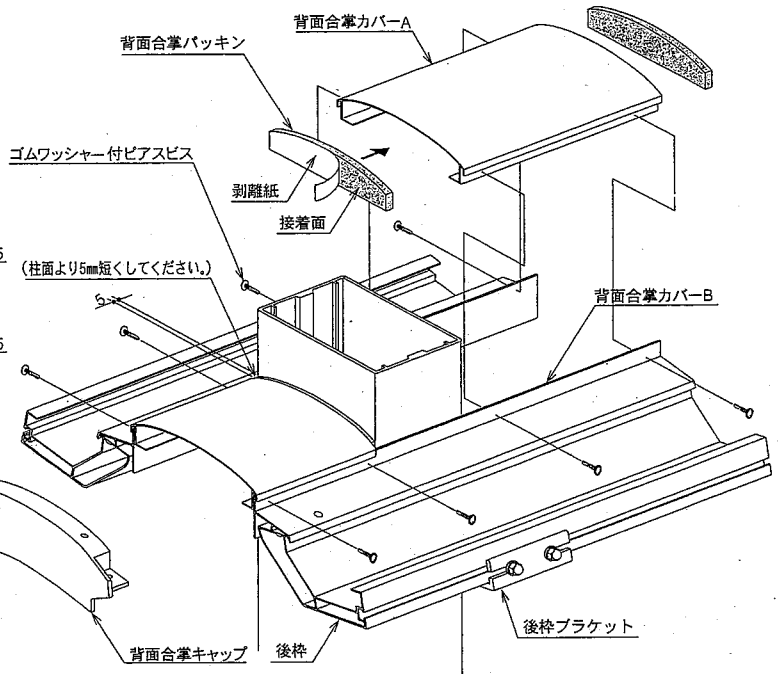
- ※ **1** において吊り材ブラケットBと後枠ブラケットを柱後面にも取付けてください。
 標準タイプと同様の手順にて取付けを行ってください。
 柱埋め込み位置は背面合掌の納まり図を参照してください。(背面合掌の場合柱は3本となります。)

■ 背面合掌カバーの取付け

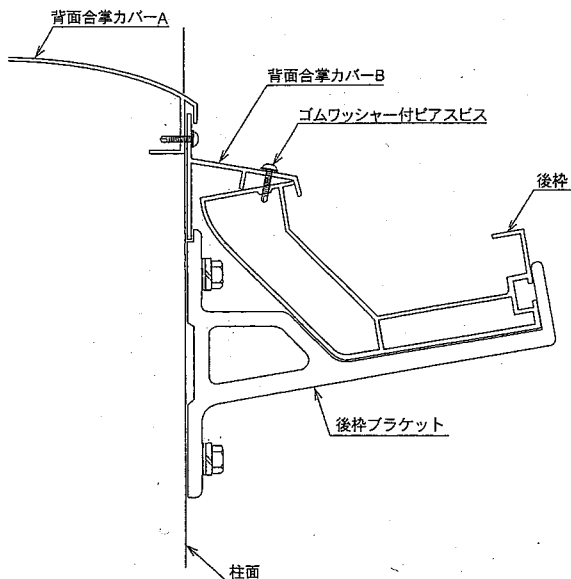
- ① **1**～**5** まで施工してください。
 ② 背面合掌カバーA・Bの取付け位置は、下図を参照してください。
 背面合掌カバーAは現場合わせてカットしてください。
 (中央部カバーAは10mm、両端部カバーAは5mm実寸より短くカットしてください。)



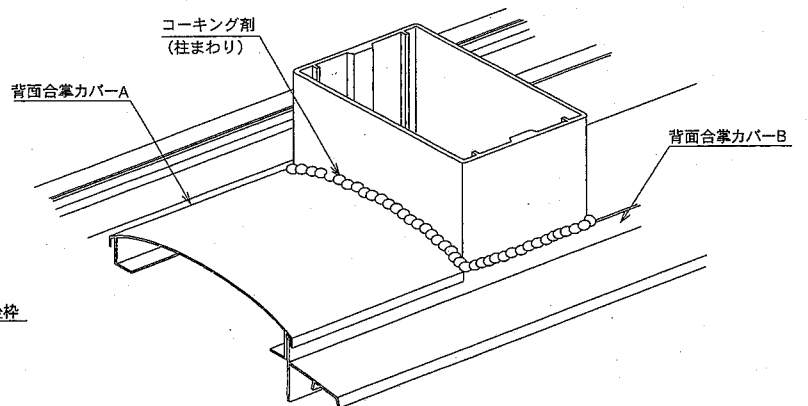
- ④ 背面合掌カバーAに背面合掌パッキンを挿入し、(のり付け面は柱側にする)背面合掌カバーBとゴムワッシャー付きピアスビスで止めてください。



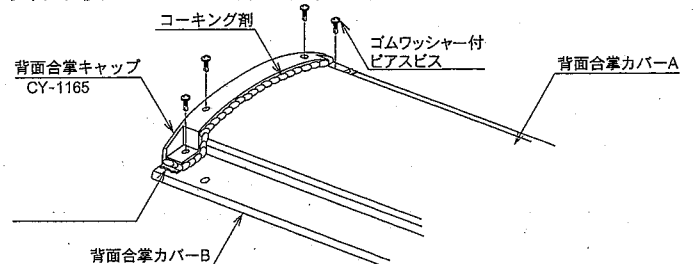
- ③ 納まり図を参照して、背面合掌カバーBを後枠にビス止めしてください。
 注) 背面合掌カバーBは、図のように柱面と後枠ブラケットとの隙間に差し込んでください。



- ⑤ パッキンを柱に押しつけた後、背面合掌カバーA・Bと柱まわりとの接触面にコーキング剤を十分に施してください。



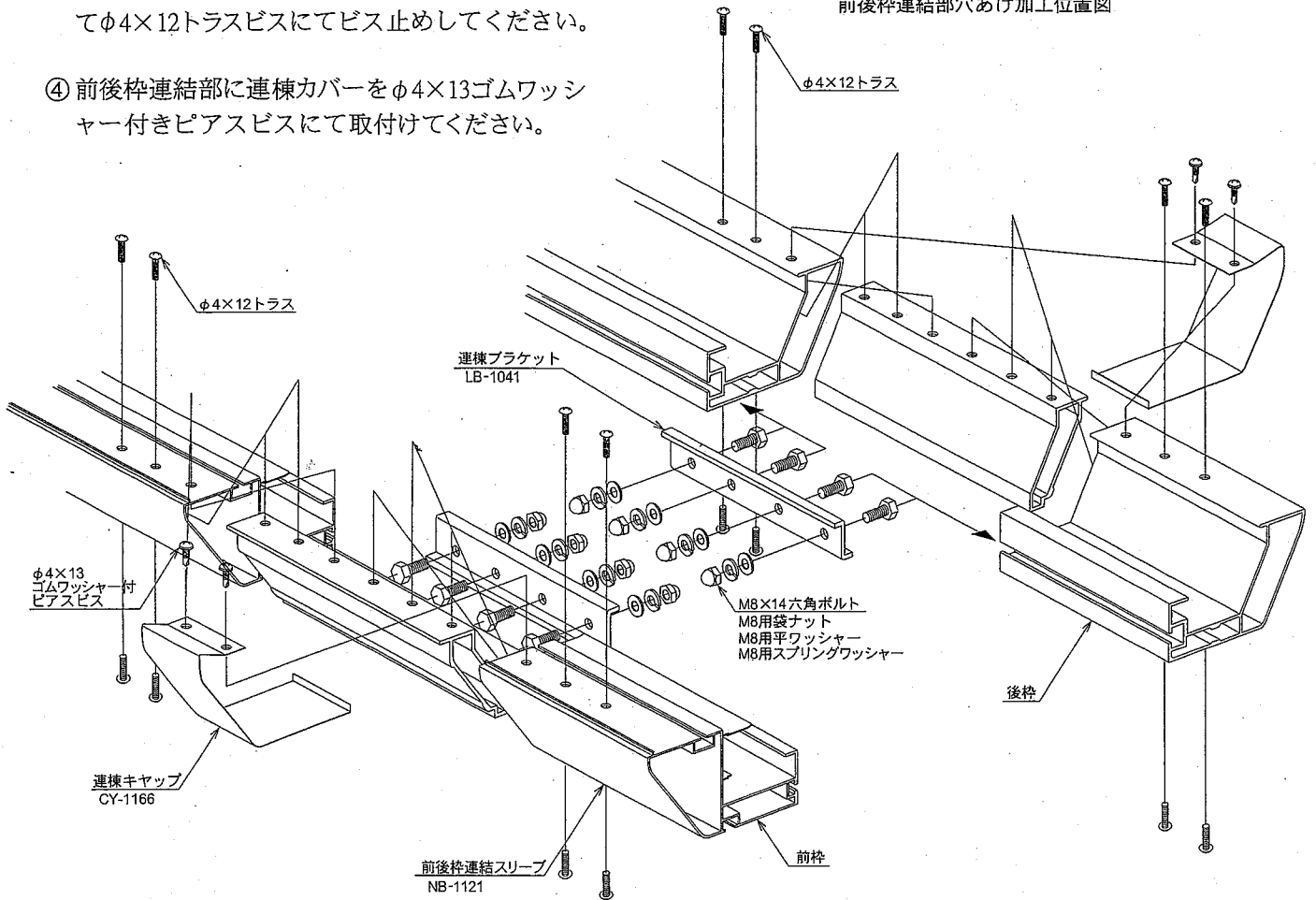
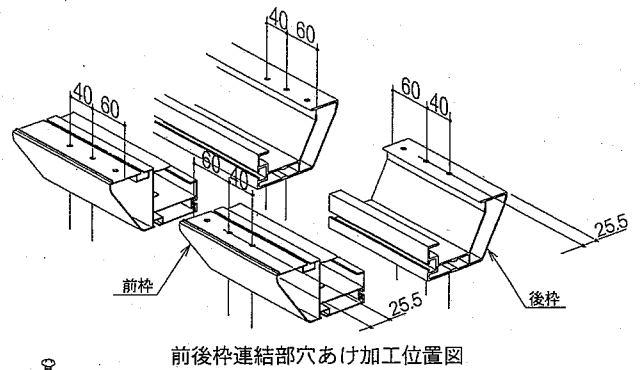
- ⑥ 背面合掌キャップを背面合掌カバーA,Bに取付けます。取付け後コーキング剤を十分に施してください。



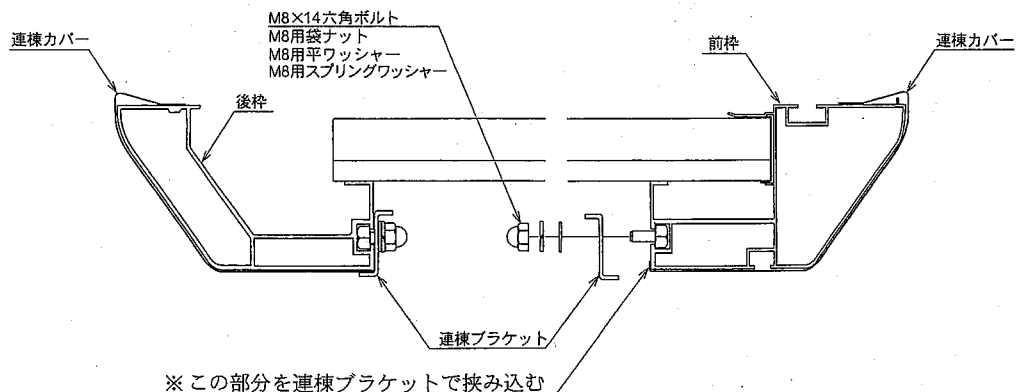
- ⑦ **6** より続けて施工してください。

■ 連棟部の組立て

- ① 本体組立の **1** ~ **5** - ① まで施工してください。
- ② 連結部の前後枠に穴あけ加工をしてください。
穴あけ位置は右図を参照してください。
(前後枠の上下それぞれに4ヶ所ずつ計16ヶ所
穴明けします。)
- ③ 前後枠の連結部に前後枠連結スリーブを挿入し
てφ4×12トラスビスにてビス止めしてください。
- ④ 前後枠連結部に連棟カバーをφ4×13ゴムワッ
シャー付きピアスビスにて取付けてください。



- ⑤ 前後枠連結部に連棟ブラケットをM8×14六角
ボルトで取付けてください。
この時連棟カバー下部の立上がり部分を前後枠
と挟み込んで取付けてください。



- ⑥ **5** - ② より続けて施工してください。